

# 漁況海況予報事業

赤羽 光秋・田村 眞通・中田 凱久・鈴木 史紀  
天野 勝三・涌坪 敏明・兜森 良則

## 発表誌名

昭和58年度 漁況・海況予報事業結果報告書

## 抄 録

### I 海 況

#### 1) 日本海（3・4・5・6・7・9・10・11月観測）

対馬暖流の中心水温は、3～5月まで平年よりかなり高めに推移していたが、以後平年並みに推移し、11月には平年よりやや低めに転じた。対馬暖流の水塊深度・流巾・北上流量からみた対馬暖流の勢力は、ほぼ平年並みに推移した。

#### 2) 太平洋（3・6・9・11月観測）

津軽暖流の中心水温は、3・6月の平年に比べかなり高めから、9月には中層ではなほだ低めへと推移したが、11月には平年並みへと復した。津軽暖流の水塊深度・南下流量からみた津軽暖流の勢力は、3・6月はなほだ強勢だったが、11月にはかなり弱勢へと転じた。

### II 漁 況

本県漁業の中核的存在であるスルメイカ・アカイカ漁業についてみると、スルメイカでは、近年資源が低水準にあるなかで、本年はやや好漁となっていた。漁獲量は、沿岸域で8,341トン、沖合域で30,563トンとなった。アカイカでは一本釣の不振が目立った。一本釣・流し網を含めた漁獲量は59,243トンで、前年（70,126トン）を下回った。

その他の魚種の漁況 ① 好 魚……………マイワシ・ブリ・マダイ  
② 平年並みの漁……ヤリイカ  
③ 不 漁……………マサバ・サンマ・マアジ・アブラツノザメ